


株主・投資家とのかかわり

荒川化学グループは、IR・広報活動を通じ、株主や投資家の皆様からご理解いただき、ご信頼にお応えできるように努め、企業価値の継続的な向上を目指しています。

IR活動

アナリスト・機関投資家向け決算説明会を年2回開催し、事業内容や経営成績、今後の展望について説明するとともに、参加していただいた皆様からのさまざまなご質問にお答えしています。3月末に実施しました第3次中期経営計画の説明会には、いつにも増して多くのアナリストの方々の参加をいただきました。個人投資家の皆様に向けての説明会も早い時期に開催したいと考えています。創業140周年である2016年へ向けて、2013年度から期間3か年の計画で、実行実現にこだわった内容でスタートします。

 ホームページからも内容をご覧ください。
<http://www.arakawachem.co.jp/jp/ir>



説明会

Voice



経営企画室
片岡 正輝



荒川化学キャラクター
「マツタロウ」

製品をより身近に 感じていただきたい

当社の製品は皆様の生活に密着したものが多くありますが、認知度が低いのが現状です。ですから、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションの場となる説明会などを開催する際は、当社の製品をより身近に感じていただけるよう、元となる原料や製品が使用されている生活用品を展示しています。

またホームページや広告では、当社のキャラクターである「マツタロウ」が、たくさんの方に荒川化学を知っていただけるよう、分かりやすく親しみやすい製品紹介をしています。是非一度のぞいてみてください。

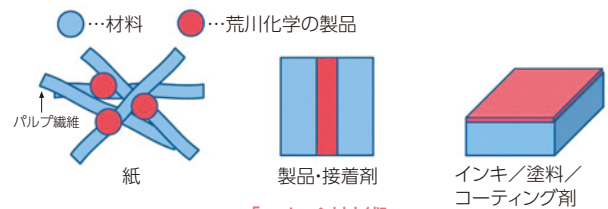
「え！こんなところにも使われているんだ！」といった、皆様の驚きの声と笑顔が、何よりの励みとなります。当社の製品が、皆様の生活と密につながっているという実感を抱いていただけると幸いです。

新しいビジョン

「つなぐを化学する SPECIALITY CHEMICAL PARTNER」を新しいビジョンとしました。当社の製品の特徴をひと言で表す言葉として「つなぐ」を用いました。このビジョンをもとに事業展開しています。

「つなぐを化学する」とは

荒川化学の事業領域(得意分野)



「つなぐ」技術

荒川化学の製品が材料に働きかけ、機能を付与する



「つなぐを化学する」

- ・荒川化学の「つなぐ技術」が材料に新たな機能を与える。
- ・顧客のニーズに合った製品で、特別な「パートナー」となることを目指す。
- ・横断的な組織体制(横申機能の強化)により、事業開発を促進する。
- ・130余年培った技術を活かし、新用途、新分野を切り拓く。



第3次中期経営計画の達成へ向けて

第2次中期経営計画では、大きな環境変化もあり、計数面では未達に終わりましたが、積極的に投資をおこない、次のステップへの事業基盤は整えられました。今回の第3次中期経営計画では、よりグローバルな展開を目指します。

中期経営計画のキャッチフレーズ「グローバル140」(140=2016年の創業140周年)を合い言葉に、全従業員一丸となって取り組みます。

株主還元への取り組み

当社は、安定的かつ継続的な配当を維持しつつ、積極的な株主還元に取り組むことを基本方針としています。配当につきましては、連結配当性向30%程度を目処に、安定的な配当の維持に努めていきます。